

安心して暮らせる村
～まつかわ～

人(村)との関わりグループ





子育て支援の取り組み



松川村には、子育て世代包括支援センターという子育て支援に対応した相談環境があります。また、子育てリンリンダイヤルという電話で相談できる環境も整備されています。秘密は固く守られます。その他、村の保健センターでは、様々な子育ての支援を行っています。松川村では、出産・子育て応援事業として、条件はありますが給付金が出る場合があります。また、検査の費用負担やチャイルドシートの購入費の補助など、手厚くフォローします。

松川村は、子育て支援がとても充実していて子供に対する考え方が高まっています。



子ども未来センター 「かがやき」



2018年創立

ここは、子供たちが心を休める憩いの場です。勉強スペースや体育館、乳幼児用の部屋もありいつでも気軽に来ることができます。そして少し歩けば村図書館もあるし、小学校の向かい側にあるので子どもの迎えが難しいときに預けておくことも可能です！「かがやき」という名前も児童がつけたもので、子どもの希望が詰まった施設です。

右の写真はかがやきの体育館です。体育館ではバドミントンや卓球、ボールなどで遊ぶことができます。またボルダリングや跳び箱などで体を動かせることができます。





子ども未来センター「かがやき」



左の写真は、乳幼児が保護者とゆっくり過ごせる「おひさま広場」です。ここは、相談体制も整えていて、子育てに関すること何でも相談することができます。

相談相手は、保育士・保健師・社会福祉・教育指導主事・子育て相談員等の専門職が相談にのってくれます。

相談内容の秘密は、固く守られています。なので気軽に相談してみてください！さらにお昼寝コーナーもあり休むことができます。

右の写真は、通称「皆の広場」と呼ばれ、主に小学生から高校生までの学生が自由にのんびりと過ごせる場所です。ここでは、勉強スペースが完備されていて、遊びと勉強の境を作りたい人にもおすすめです！大きいテーブルでコミュニケーションをとりながら楽しく過ごせるように工夫もされています。子供に寄り添った作りになっています！





小学校での食にまつわる様々な体験

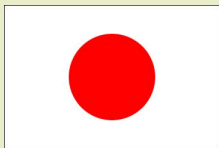


松川村の松川小学校では、醤油を造る体験、大豆を育てる体験、そこから味噌やきな粉を作る体験お米を田植えから始めて育てる体験など、様々な農業・食にまつわる体験を行っています。この体験を通して、普段食べているものが、どういふふうになられているかを知ることができ、また自分たちでほとんど一から作ったものを食べるという達成感も味わえます。農業が身近な松川村だからこそできる体験です。

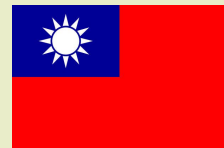
地域の人に教えてもらいながら味噌づくりの体験をしている様子です。



お米を手で植えている様子です。



〈松川中学校 姉妹交流都市〉 鹿港鎮との交流



松川村では毎年秋に中学生が台湾の鹿港鎮に交流にいきます。右の写真は去年、私達が鹿港鎮に行った際の写真です。

鹿港鎮との交流では、鹿港中学の生徒と授業を受け、鹿港鎮の街を鹿港中のペアになった生徒と食べ歩きなどをしながら巡ることで、台湾の文化を学ぶことができます。さらに、鹿港中学の生徒が松川中に来る際にもコミュニケーションをとることで、国際交流の経験を積めます。公立の中学校で、海外への生徒の派遣事業を行っているのは少し珍しいかと思います。松川中学校に通っていてできる貴重な体験のひとつです。



～長野県(松川村)にしかない独自の文化～

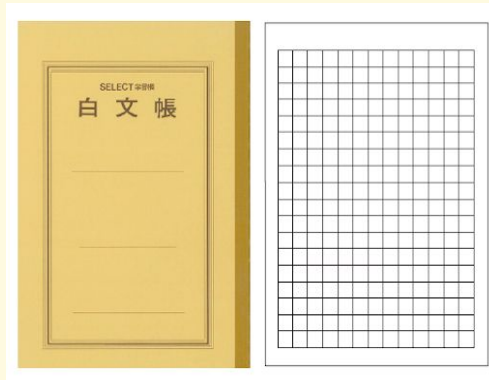
無言清掃：

長野県の学校では真剣に掃除に取り組めるように無言で掃除をするという習慣があります。



白文帳：

下にある写真が白文帳です。白文帳は小さいマスに漢字を書いていく練習帳のようなもので、他には知られていない独特な文化です。



ASレポ

(Amusement Study)
コロナの影響で色々な行事がなくなってしまった際に生み出されたのがASレポです。ASレポは自由研究のようなものです。



松川村の不便なところ

熊や猿などの野生動物が多い

よく、くまの目撃情報が村内放送で流れたり、夜にきつねの鳴き声が聞こえたりたぬきが道路を横切る現象が起こったりします。

村内放送

場所によって聞こえづらかったりうるさかったりする。

移動が困難

三駅(信濃松川、北細野、細野)あるものの本数が少ない。村内を走るバスはない。→自家用車は絶対必要！





小学校・中学校での体験で感じられたこと



食(農業)に関わる体験

大豆や醤油、味噌などをつくる体験や、米を育てる体験を実際にやってみて、自分たちが日常的に食べているものを、つくったり、育てたりすることで、つくられる過程を知ることができました。また、食べられるようになったときの達成感も感じられました。そして、自分たちでつくったものを食べたときは、その味も普段食べているものより美味しく感じられました。



黒部立山校外学習

村では毎年7月に中学生が黒部ダムや白馬地域に校外学習に行きます。黒部立山を黒部ダムを中心に室堂まで多くの乗り物を使い登ります。さらに、黒部ダムのできた経緯や建造中におきた苦勞の数々を学ぶこともできます。普段の生活では気にすることのないことも学べるのも松川村の良いところの一つです。



黒部立山での学習の感想

黒部立山での学習では、自分たちの住む松川村のほど近くに、先人たちの苦勞と努力の結晶である黒部ダムや、壮大な自然があるということを知ることができました。黒部ダムのできた経緯や建造中におきた苦勞などを学ぶことができました。





まとめ

松川村にはずっと住んでいると気づけなかったが村には珍しい特別な活動や、貴重な体験をできる行事が多くあることがわかった。特に鹿港交流では、海外と交流することで日本と世界の違いを学べたりすることができたので、良かったです。

